

昭和9年(1934)設立

財務省許可 社団法人 昭和経済会

第59巻8号 20年10月

昭和経済 20-10月号

昭和25年6月24日 第3種郵便物認可 (毎月1回1日発行)
昭和25年10月19日 日本国鉄道特別版承認権第1797号

昭和25年6月24日 第3種郵便物認可 (毎月1回1日)

平成25年9月26日印刷 平成26年10月1日

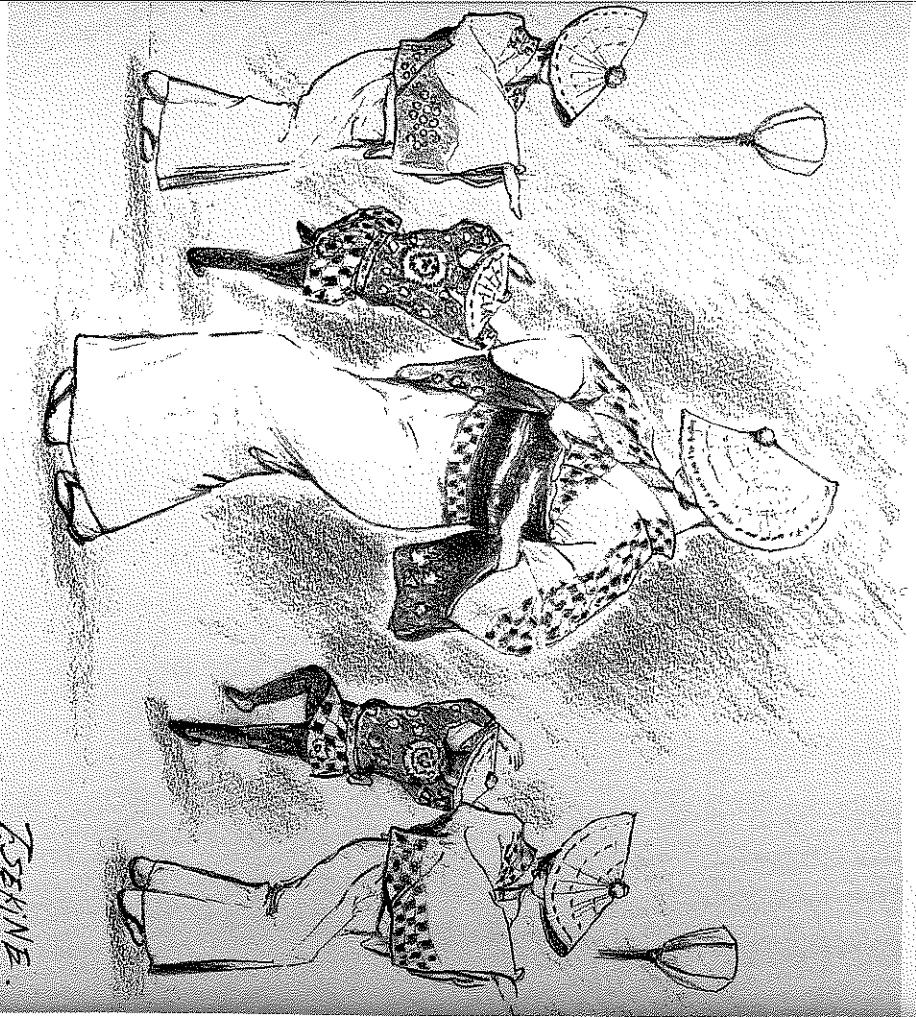
昭和25年10月19日 日本国鉄道特別版承認権第1797号

国会図書館永久保存

昭和経済会 Manager Association of Japan

〔時局論壇〕『組織の能力』が成果を左右
大転換期の発想法

平野 雅章
三原 淳雄



Showa Economic Study Association

企業家・経営者団体

財務省 本省許可

社団法人 **昭和経済会**

事務局〒104-0028 東京都中央区八重洲2-11-2

TEL 6820-6000・3271-8846 FAX 3271-3104

<http://www.showakeizai.ec.or.jp/>

e-mail showakeizai@crux.ocn.ne.jp

越中おわら 風の盆

TSUKINE.

<p>卷頭言 (米金融安定法可決) … 佐々木誠吾…(2)</p> <p>人生闘歩</p> <p>～日本米街道を行へ～</p> <p>（時局論壇）</p> <p>『組織の能力』が成果を左右 … 平野 雅章…(7)</p> <p>物事、難しいことはない … 井浦 康之…(28)</p>	<p>「転換期の発想法」</p> <p>昭経俳壇</p> <p>遠藤 薩穂…(33)</p> <p>変る世界・変れぬ日本</p> <p>三原 浩雄…(3)</p> <p>後記隨想</p> <p>佐々木誠吾…(37)</p>	<p>表紙絵のいとば</p> <p>堀江 忠男…(22)</p> <p>関根 常雄…(53)</p>
--	---	--

次号十月目次

人間社会は今日まで幾多の歴史的試験を経て、その存続を得てきました。	その間、私達は経済社会の生徒の中で、自然科学への洞窟立と題目で、企画制の企業家、経営者団体で我々が國の「公私経済の発展助長」と会員相互の連絡並びに親睦を図る」	月刊「昭和経済」の發行社団法人 昭和経済会
創立と題目	企画制の企業家、経営者団体で我々が國の「公私経済の発展助長」と会員相互の連絡並びに親睦を図る」	月刊「昭和経済」の發行社団法人 昭和経済会
人間社会は今日まで幾多の歴史的試験を経て、その存続を得てきました。	その間、私達は経済社会の生徒の中で、自然科学への洞窟立と題目で、企画制の企業家、経営者団体で我々が國の「公私経済の発展助長」と会員相互の連絡並びに親睦を図る」	月刊「昭和経済」の發行社団法人 昭和経済会
創立と題目	企画制の企業家、経営者団体で我々が國の「公私経済の発展助長」と会員相互の連絡並びに親睦を図る」	月刊「昭和経済」の發行社団法人 昭和経済会

米国発の金融市场の混乱は、我々がかつて経験したことのない異質の且つ、最大の規模にまで及んでしまいました。世界経済の大きな不安定要因となっています。一刻も早く正常化の道へ復帰するよう一致して、各國が英知と行動を共に發揮すべき時であります。

米下院議会は十月三日「米金融安定法」を可決しました。同法は、最大七千億ドル（約七十四兆円）の公的資金を投入して、金融機関から不良債権を買い取ることを柱としたものです。苦惱の末に生まれた同法案は、米国発の金融危機を封じ込め、しいては世界への波及を喰い止めるための過去最大規模の融資を投入する金融対策です。一旦は下院で否決されましたが、反対の意を汲んだ修正がなされた上院で可決し、再び下院で可決すると云う難産でした。

ここ数日間は、同法をめぐり米下院議会では意見が錯綜迷走する状況を、世界はかたずを飲んで注目していました。ともかく同法案が可決されたことは米国はもとより、世界经济を脅ししきれなものとしてこれをお高く評価し、尚、追加的である信用収縮の緩和に向けた措置が講じられました。

佐々木誠吾

卷頭言（米金融安定法可決）

す。社会に生きる我々に大きな警鐘となつています。金融商品の慢延した社会崩壊は、現代の経済世界に張り巡らされた、今回の大且つ複雑人間の社会を見つめなおす必要があります。神の怒りで、エデンの園を追われた罪深いた、人間の悪しき姿を見ないわけにはいきません。利益追求に狼藉三昧を繰り返してきあります。本としした経済体制の意味をはき違えた結果で仄しからず。人間の主権と自由と民主主義を基るといえないこともあります。おくれるもの

集効力を發揮する対策が、迅速に発動されることが期待せば、にはおられません。この先の経済の動向は、尚予断を許しません。何よりも信用不 安を緩和、解消することが先決です。

以前にも述べておりますが、良い法案であつても、運びに遅したてはたまつたものではあります。傷口を大きくしてからでは、良薬も効果ありません。傷口にひろがつた現状を打解するには、もつと激的な対策必要でしょ。それと根本的な問題題は、米国の住宅市場の価格下落を如何にして止めるかあります。住宅ロードマートをトでの回復が焦眉の点です。

大統領選挙を一ヶ月後に控えて、大胆な対策急経済対策の議会通過を目指して、オバマ、マクレイ、両候補が、一時選挙活動を中断し、結東して議会通過に努力した点は、感銘を深くしました。

高い水準が、日本のノーベル物理学賞の受賞者の時今です。そうした中で、日本の学問研究の我々を鼓舞し、世界に発信する明るい情報がなす。まるで気の抜けたサイダーのようです。感が漂い、社会にも暗いイメージが漂っています。今日日本には、永年の景気後退、政治の無力化があります。

子物理学の基本的なノースを築きあげたと云ふ論を提唱してきました。そして現代の素粒子論が三氏に共通して云ふることは、あらゆる物質をえないう素粒子の存在の、小さな世界とかわつてくるのですから、不思議です。今回受賞した大阪市立大名誉教授です。素粒子物理学の理論づく基本粒子の研究で先駆的、画期的な理

三大宇宙は、いついたい何かからできているのが見えようか。人類は永年に亘り、この存在の解

がします。

した思い付きが問題の核心に迫つてゆく感じは、これ又謎であります。単純な発想ど、ふと

あります。難解な学問に挑む研究者たちの頭腦つて、実証されたことの榮誉で受賞しました。同志である小林誠氏との共同研究の成果を以て、京都産業大学理学部教授でもあります。教授で、京都大学名譽益川敏英氏は六十八才、現在、京都大学名譽

た栄誉の受賞です。

の存在を明かにして提唱し、今日それが実証され速器研究機構の名誉教授です。新たな基本粒子

小林誠氏は六十四才、現在は高エネルギー加

づくに貢献した栄誉の受賞です。

大阪市立大名誉教授です。素粒子物理学の理論

南部陽一郎氏は八十七才、現在米シカゴ大

祝福する次第であります。

て、世界の人々とともに、誇りを以つて心から

一人が選ばれました。受賞は喜びと賛美に極し

ら三人が、そあいて翌日にはノーベル化学賞か

十月七日、今年のノーベル物理学賞に日本か

ノーベル賞受賞

の行く末は、予断を許しません。 九月十日。
定期的悪徳金融商品、サブプライムローンの影響によりました。成熟した資本主義経済下で現れた末到となつて、史上最大の暴落を演じる結果となりうる事態になつたのです。これに悲観した投資家が狼狽りが、ニューヨーク株式市場の売り殺人が大方の予想に反し、米下院で否決されたといふ事が、公的資金七七兆円の投入を盛り込んだ救済策を発表しました。この米・金融安定化法案が重い腰を上げて抜いた天下の宝刀でありまらないであります。そこで米政府、及び金融当局混亂を防ぐため打ち出される幾多の政策に異質の経済恐怖の旋風が巻き起こつています。くさ金融市場にはかつて経験すらしなかつたた。証券大手五社のうち、四社が退場を余儀なない込まれる状況が金融業界で起きてしましました。莫大な損失を蒙るに至り、財務の悪化で破綻に急速な下落で、資産価値が大きく目減りして、

これを投資対象に買ひ受けた投資家は、証券の量に証券化されて、投資家に販売されました。サブプライム・ローンが広範囲且つ複雑、大結果になつてしまつであります。
ひいては国を問わずせかいけいの景後どなつて、世界市場に波及する様相であります。これに對処する各國金融当局も懸命の対応に追われています。昨今の状況は金融恐慌の兆しを世界経済に与え、各國を震撼させています。力發金融市场の不安と混乱は、世界市場に波及する結果となりました。ドラスティックな動搖題は、その後の金融市场の混乱を招き、アメリカ昨年八月に起きたサブプライム・ローンの問題で、この日の取引を終えました。
た。結局ダウ平均株価は一〇、二五五ドル四五が、前日比七七七ドル六八セントも急落しました。大の下げ幅を演じ、ダウ工業株三十二種平均株価

九月九日のニューヨーク株式市場は史上最

ト・サイモンは、組織を「意思決定マシン」といっておれば、ノーベル経済学賞を受賞したハーバード大学の分析で使う「組織」概念について

◇◇◇ ◇◇◇

意を紹介したい。

本稿では人的投資（人件費）と経営成果との関係や組織特性の影響を分析した結果と、その含意を述べる。学問的には多様な定義があり、

リターンに関する実証研究を蓄積してきたが、

この数年間、筆者はIT（情報技術）投資の

高まりについているといえよう。

は、企業の人的投資のリターンがどうなっていくか実態を把握する重要性はこれまで以上に揺らいでいる。こうした環境の変化をふまえれば、移籍など、伝統的な企業と人の関係が大きくなり

M&A（合併・買収）に伴う突然のリストラ。

近年、非正規従業員の増加や成果主義の導入、

個人活かす組みに

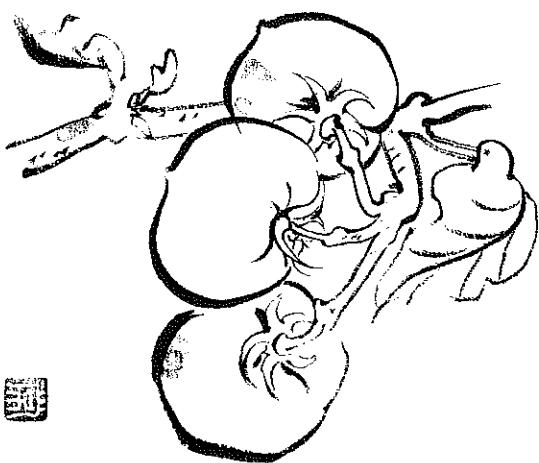


平野 雅章

早稲田大学教授

「組織の能力」が成果を左右

「時局論壇」



作品 関根常雄

ノーベル化学賞を受賞した下村脩氏は八十一年工学の分野で広く研究利用されています。から緑色に光るたんぱく質を取り出し、医学や発見と開発」というものです。発光するクラゲの理由は大変興味深く、「緑色螢光たんぱく質の才、現在、米ボストン大学名誉教授です。受賞

が与えられて喜ばしき限りであります。多くの人たちに、喜びを与えて、大きな希望と夢少しでも広く人類に貢献したいと願つている生を生きていく家庭で、どのよくなごどであれ、が三人、四人と相次いで伝えられ敵増した。人が

の結果と考えられる。
次に、総資産人件費率の高い企業群と低い企業群を、さらにそれぞれ組織IQの低いサブグループと高いサブグループとに二分して、組織IQの低いサブグループと高いサブグループとの比較を行った。

したがって、人件費率が高いと高収益にならぬのは、全般的的傾向であることが推測され、必ずしも高収益企業がバランスシートを圧縮した結果として総資産個人件費率が相対的に高くなつてゐるとはい切れない。むしろ、研究開発費を生むプロセスに人を配置していくこと、特殊な製造過程、顧客密着の営業など附加価値を生む。

そこで、売上高人件費率と収益性との関係もみると、やはり統計的には有意でないものの、売上高人件費率の高い企業群の方が収益性は高い傾向にあると言えます。

中でも総資産人件費率の高い企業群の方が収益性は高いといつてよい。明からにこれは「機械化・IT化による省力化が収益につながる」という通説にあたる。

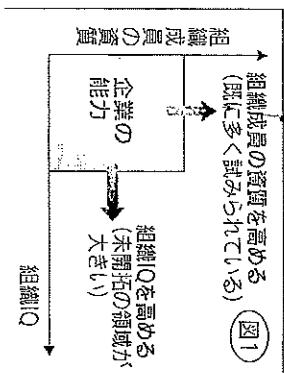
組織Ⅰのという尺度は約十年前に米スタンフォード大学ビジネススクールのメンテルソン教授によつて開発された、シリコンバレーの新興企業を対象とする企業評価法で、文字通り組織の知能指數を測定するものだ。具体的には、①外部情報感度②内部情報流通③効果的な意思決定機能④組織フォーカス(決定方針に組織全體が経営資源と努力を集めるレベル)⑤継続的革新――の五つの面について調べ、組織メンバーに対するアンケートとインタビューの結果から組織Ⅰのスコアとなる。

組織メンバー（従業員）の資質を向上させる方法とがあることに、組織Iの向上させる方法と組織IIの向上させる方法とに、組織IIの優秀さは「組織Iの」という指標で測定する。どちらであり、一方、意思決定マジックとしての組織Iの優秀さは「組織Iの」という指標で測定する。組織IIの向上させる方法と組織Iの向上させる方法とに、組織IIの優秀さは「組織Iの」という指標で測定する。

統計的には有意でないが、製造業の同じ業種の
による割合に関連)と収益性の関係をみると、
ます総資産人件費率(機械やITでなく人手
データを使用している。

今回の分析では、二〇〇〇年度から〇五年度までの経済産業省「情報処理実態調査」に一回以上回答した上場企業二千二百八十九社に、〇七年五月十五日から六月七日の間にアンケートを実施。二百十四社(回収率九・七%)から回答をもらい、有効回答一百九十三社(同八・四三%)の中で製造業に分類される百十八社をサンプルとした。人件費データ(外注を含む)、人件費・労務費・福利厚生費・役員報酬の合計および財務データは、一九九七年から〇五年最近の上場企業は可能な期間のみの公開

さはたび実証され、新興企業以外の企業で計算する。組織I.Qと企業業績との相関の強さはたびたび確認されている。



組織であると考えるにこれができます。

企業の能力は組織メバ、一の資質×組織の優秀さであり、企業能力の大きさは図の長方形の面積であります。

しかし別物である。すなわち図1のように、「企

(短期的には)変化しないといつていい。組織の優秀性は組織メバ、一の能

力とは別物である。組織の優秀性は組織メバ、一が入れ替わっても

なく、組織とは組織メバ、一は組織の一一部では

組織を構成する組織メバ、一は組織の「定義」です。組織のためのルールや仕組み」と定義する。組織を構成する組織メバ、一は組織の「意思決定」と「組織」としてい。

現状の日本企業をみると、人的投資はどの企業も長期間やつていてるので、その限界リターンは递減(てきげん)してあります。優秀な人々の努力が企業でいることはいえない。優秀な人々の努力が企業内で空回りしてしまへばかみれず、もがいていてもよくながらない。人件費を削るといふが長期待つまでもなんへ明らかであるが、本分析結果が指し示す方向は、優れた(組織Iの高い)組織による解決である。

増加していく。情報処理負荷が情報処理能力を凌駕してしまうと、意思決定が遅くなったり、間違えが発生しやすくなったりする。そこで、組織メンバ一人の情報処理負荷が情報処理能力を超えてしまわないように、組織設計をしていくことがポイントとなる。

日本企業では、企業の能力を向上させたため標準的なやり方は「人に対する投資」で、困難や挑戦に直面すると、より多くの人を投入し、より優秀な人を投入したり、教育訓練などにより従業員の資質を向上させようとする。これは図1で、垂直方向に企業能力を拡張しよう。

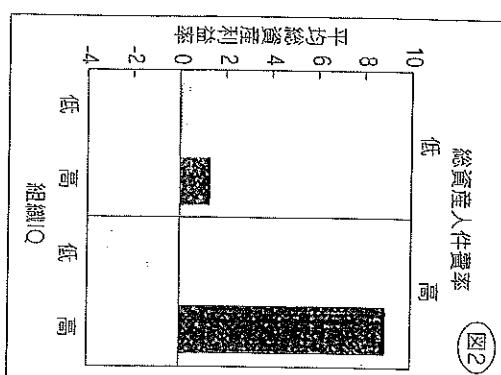
この分析結果が妥当するのは、附加価値を生むことを狙つて研究開発、特殊な製造過程、顧客密着の営業などプロセスに多くの人を投入しても組織Ⅰのが高い企業のみで、組織Ⅰの低入しても、実際に高収益に結びつけられるのは組織Ⅰのままで直結して収益が悪化しているといふことである。

件費率と組織IQとの間の、いうした関係は統計的にも有意である。高い総資産人件費率から高い収益性を得るために、組織IQが高くなければならず、両者の間にいつした関係が生ま

る。人間の情報処理能力はこの百年間に大幅に
業や環境の特性と考え合わせ、組織を再設計す
により、組織I.Qスコアを、企業が置かれた産
いうした強力なトットピダウン・アプローチ
である。

効であり、図2の分析結果はこのことを雄弁に有させためには、水平方向への拡張も同様に有りうる力である。ただし、企業能力を向上

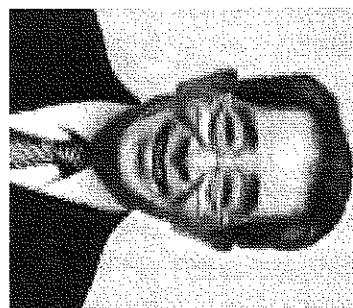
総経済のQの高い企業群(黒の柱)は全体として収益性が高いため、総資産人件費率を高めると収益性が大きくなる。これに対して組合のQの低い企業群(灰色の柱)の場合は、全体として収益性が低いが、総資産人件費率を高めると収益性はマイナスにならざり。そして、総資産人件費率を高めると収益性はマイナスにならざり。



分して、合計四つの企業群にして収益性を比較したのが図2である。

今、国の相続税が一休どんぐりのへり上がつていて
ころがそれに対しても役人がじれり手間暇かかる、こ存じですか。二兆円もありません。と
さて、どれほどコストをかけているか、こ存じですか。
どうが必ずしも必ずしも、一億円以上遺産があると必ず調べにきます。こんな無駄な調査をやつている税務署員に、我々は月給を払つていてるのです。このコストに比べたら、微税コストに比べたら、あんなに引き合はない、割の悪い税金はありません。だからと言つて、相続税をゼロにしろと言つたら、馬鹿なマスコミが目を三角にして、金持ち優遇はけしからんとギヤースク、ギヤースク訳の分からないことを言うでしょう。

だからタダ張市を助けるために、タダ張だけは相続特区として相続税をゼロにすると言つては移れば、その分、人口が増えます。お金持ちが移ったたら、お金持ちが移ります。当然、高齢者が行きますから介護は賛沢に出来ます。グル

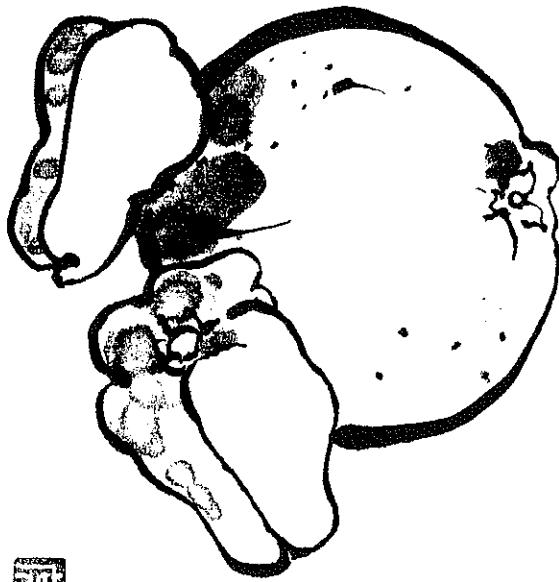


三原 淳雄

株式評論家
経済評論家

変る世界・変ぬ日本

大転換期の発想法



作品 関根常雄

(東京工業大学博士。専門は経営情報学、組織工学)

平成二〇年六月十九日日本経済新聞に発表

組織構築にも長(た)けています。留意すべきは業経営者の専管事項であり、優れたリーダーは組織メンバーがその資質を活かせるよう組織IQと同じデータを使つた分析によると、人件費率と組織IQとの間には全く相関関係が無く、人件費率を高めても組織IQを高めるに至らず、組織投資を行い、組織IQを高めるに至らず、組織IQとIPOとの間に人件費率と組織IQとは向上しないということがあります。すなわち、人的投資とは独立に組織IQとIPOとの間に人件費率と組織IQとIPOとの間に人件費率と組織IQとは向上しないといううことであります。

日本最大の課題は、何故みんな切れたおつかいが悪いのです。そのへば飲だけ煙草です。払おうとしたせど。プロの知恵とかプロの情報に、なかなかお金を払わなかつます。日本ではなかなかサービス業が定着しないのですが、ビス業と言つのは、それだけ貴重品なのです。サービス業といつのが、本来のサービスなのですが、自分命を捧げなければいけない役柄子が回つて来て、お金をとられます。これが、教会に行つてお祈りしてれば、直ぐにまた取られます。このことはサービス料として必ずチップを取らなければならぬ。アメリカではタダだと思つていませんか? 諸書を引いても、タダと言つたのです。日本では形のないものに、お金を払つたときも、借りてきなればタダだと思つてゐる

しに子供達が沢山でてへるのかと言つては。制度や税制にその理由があります。長寿社会は結構ですが、後期高齢者とは少しはかり名前を変えて長寿社会にするのだとそつですが、例えば親父が九十五歳で死んで六十五歳とか七十九歳があると、寿命はあるけども命がないうといふことになります。今は偏っているのです。経済がもって、使えないで十才の息子が相続して使えますか。使えないで資産があるて、知恵があるけども命がないうといふことになります。歴史的におじいちゃんなどと一緒に生きながら、六十代の親父が六十代の子供に相続させて、又、六十代の親父が九十九代になつて又六十代の子供に相続なしかしていつまでも、富は食い潰されていきます。人口が減つていへのでですから、随分変わつています。

ですから、我々の時代だけが豊かなんだと言つた。故に、佛頂面した人はかなりなんですね。何でもう少しここで思つてもらつたが、これがどうかと思つた。午後、銀行などに集まつてへんのかへんか。みんな佛頂さん、樂はんばかりです。みんな佛頂さん、ひのきやん、輪ひんがは、うらしさ所で済んだのです。おひつだ。たゞ失つものがいいで済んだのです。資産を持つてからかいつてそつみがあるのです。では、そのつみを解決するためにはどうですか。では、そのつみ借りられればいいのです。

戸に住んでいても、大多数の人は借家人です。日本の農地解放と、財閥解体の時からです。

戦前の大半のお百姓さんは小作人です。江
さつさと放棄しなければ損してしまいます。
のは何もありません。なんものは相続の時は
が、私は大分の山寺の出ですから、金目のも
も、先祖代々遡れば、四百年ぐらいは遡れま
代々持っている人は、いくまれでしょ。私な
東京にすーと住んでいて、大きな土地を先祖
爺さんは、一体どんな生活をしていましたか。
には無いのです。考えてみて下さい。ひ爺さん、
の今の時代を除いたらありません。歴史上、他
天皇以来、日本が豊かな時代と言うのは、我々
紀元は一千六百何十年か判りませんが、神武
らです。それは仕方がありません。
DNAでしょか、食いは性根が食しいか
は豊かなのです。国民性でしょか、日本人の
ロシと発想を変えれば、簡単に出来る様、日本
の税収は上がっています。そういう場合にコ
もうに人口が増えるでしょう。その結果、夕張
めが行きますからレスターランドが出来ます。そ

試験していきます。日本が戦争に負けた三ヶ月前から、買ひきの満人の店の値段がじうぶんと家に帰つて、お袋に又上がつていて、といふ言ひ事が上がるのです。

どうぞ、あなた騙されてはゐるやうじのどこの書の発表ぐらいいしかりません。昔くどん日本は勝當です。当時は、ラジオで聞かれていたのは大本當です。日本が負けたときに思つていて、自分たちがわざと、そつとうどん日本が負けるといつてたいたのです。彼は、やめやめ目合ひをしておられました。だからかわざと、じつは金なんか買えぬといふ意味で貴段で貴段をしはじめておられました。それはそれで、人月十五日には通用しなくなつてしまつよう。人月十五日には通用しなくなつてしまつたのですから。そういうことは全然考へえないで済ませ時代で、本当に辛せだったのです。

だから人と同じでござつていて、人並みにけはせしたし、また、増えやるといつて前提でした。

國力の落ちた通貨は売られません。私は満洲で経今のようにとにかくとても元気でやっています。トランサエーブヘイのものであります。

私は数えられるほどで、山陽特殊鋼と、永大産業社なん。上場企業の中で、この時代に倒産したの殆んど企業は倒産しませんでした。倒産はしません。この時代は、余程、放漫な経営をしない限りは座にお金を振り込んでくれました。ですから、銀行にちよつと電話すれば、ホイホイと当たつたとしても、倒産するにはありませんでした。株は又、どんどん上がつて行へるので、資金繰りには困りません。だから、期末に少し赤字にならぬ持つていれば評価を変えるたびにどんどんバラシゲートは改善されて行くべし、持たされた産がどんどん上がりつて行つてるので、土地をどうしていれば良かつたのです。B/Sの方は、資本は、企業の経営者はP/L、損益計算書だけを気にせずとも、放つておいてきて月給が増えた時代です。売り上げも増えた時代なのです。その時代

私が何から何までです。これから引退しようと決めていました。私はアーティカルで教育を受けたと感じます。やつたら」と学校の先生から言われたときも、國語が良くてきたのだから、苦手な算数や英語もやつた。出来ないものは伸びてしまつた。「出来た」出来ながらの放つておけ、出でて来るものは伸びてしまつたから、日本に向かって月給で働く優秀な労働者があつたから、日本は世界中から、外貨を集めで比較的若いうちに安い月給で働く優秀雇用で比較的均一、均質で、年功序列と終身雇用で比較的若いうちに安い月給で働く優秀労働者があつたから、日本は世界中から、外貨を集めで競争を始めたのです。店頭に並べておけば、どんどん売れたのです。セリーマンとして努力してきました。

払わないと言つのです。従つて自分でまくる人
するしかりません。だから若者かやけになつた
解決方法は掛け金を上げるか、給付金を下げる
さくなつていへただけです。

題が全く片付けられることはあります。ハイが小
が付いて結婚になつたからと云つて、年金の片
ア言つてゐるのです。五千人の方が全部ギ
の方で騒いでいるから、そちがヤマギ
いの、貴重ものは横つておいて、五千万人ば
たらいいのです。それらに差額を差し上げ
か。園遊会でも呼んだり、名譽を差し上げ
どくも勲章でもあればいいではありません
けいなのです。その代わり醉退した人々に
すから、どんどん醉退できる制度を作れ
いわけるのです。

山金を払つて邪魔になつてつる方は沢山いら
しょうけど、税金を払わなければなりません
具合でも貰つてつる方は沢山いらっしゃる

・ 一 ネ マ ネ ニ ハ
るが慶祝されてゐるのです。金融業をマネー
しかし、日本で一番伸びそうな金融業のこと
ければいけないのです。

けり増えません。従つて産業構造を変えていか
ですから、余程、附加值を上げていかない限
は増えません。GDPは生産人口掛けの生産性
なら、人口は減るのですから、もうGDP
をどうぞ日本に誘致するやうにことを業
たら、日本の法人税を下げても、外国の企業
だからトヨタが儲けて帰つてへりへりだ
時代に変わつていてゐるのです。

殆んどは、外國から來ていてゐるのです。そういう
からは税金を払つてしまふんです。トヨタの税金
上げていなじとじしてしまふ。国内での利益
では、利益は上がつてしまふ。国内での利益を
ついていたら大問題です。トヨタの国内に限
トヨタの法人税は、我々が払つていてるかと思
ました。トヨタは正にそうであります。

です。それで、変わつてつる企業が沢山で
きておりました。

おしゃべりであります。まあ、そういうふうな
爺さんは豊かな人、例えばあのナッシュ
の内で、その内に若者に負担をかけないよ
いので、それを講じてやればいい。五千
万円分を三八三にしたが、それを講じてや
いといふに時間を使つていてるのです。
が目に見えていたのです。何故あるかは
ですかと言つたいたいのです。つまり
のまま、年金など議論していくと、するの
が下線に向つて、減少していく時、今の制度
しかし一事が万事ではありません。今や人口
中にはいるでしょ。

なんと言つうのです。胡臭くて、怪しからん奴は
一ノ一大にしても、何だか胡臭くて怪しか
村上マサトさんでも、堀江さんでも、アート
清く、正しく、美しく、拘つてゐるのです。物
未だ書かれていた馬鹿げた風潮なのです。
のは怪しからんと書つた馬鹿げた風潮なのです。
ゲームだと思つていいのです。金で金を儲ける

ら国のが変わると期待して買つたの
の動きをしていました。マーケットはこれから
の時は、GDPとマーケットはほぼ同

まで戻りました。だから形が違います。
いらないのに、株価だけは一時、五〇〇兆
は七六〇七円まで、すこと落としてしま
した。〇三年の四月からGDPは少しも増
は二二〇兆まで落ちてしましました。日本経
テラス、マサニス一派、セゾンペイのですが、
しかしマーケットを見ているとGDPは

ないのです。逆転してましたのです。
たのに、名目は一派、セゾンペイしか
といふが実質が一〇派、セゾント増え
ています。

最早目に投資しておこうとする気にな
らに、売上げの方は付いてるのです。それな
す。少し過大投資をしたかなかぬと言つて
いるであります。全ての悩みをソフレは解決してくれるので

ハーバードは優秀ですが、学生たちにはハーバード大学アメリカの教育はそこが違うのです。ハーバ

つたのかといふことが問題です。東大は大事ですが、それでは東大を出て一体何をやるんですか、何のために東大に行きます。東大は大事ですが、それでは東大を出るのに、まだ週刊誌などは、じいじの高校が東大にならなかったらどうなののかと云わなければいけないから君たちが一人一人役をやれるようにな人間にやつていていたら会社は潰れてしまします。だからこれが言わなければならぬのです。そんなにとにかく日本人並みの月給が払えますかと、誰いのに、日本人並みの生産性しかもつてない中国人やロシア人並みの生産性しかもつてないのです。しかも安い給料です。日本の中で、飛んでもないといふことになります。それにつけ加えて、一十三億人が働き始めるのです。それで金儲けに目の色を変え始めた連中が、今度は金儲けに目をやるつもりに社会主義だつたのです。なまけていた方が特な社会だつたにふつてしまつたので、じいの人たちが社会主义だ

(くふく)ハーバードはそれをやせただけで、二〇億人二〇億人だったものが、急に膨張したのです。中国、インド、など比べたら太刀打ちで生きています。物作りが悪いとは言いませんでした。物作りが悪いとは言いません。付けてくるのです。又、ハーバードはそれを他の教授を揃えていました。何をしたいのかといふのが、あの先生についで勉強したと言つて入

いていたのは、西側ですから、人口の数にして壁が壊れたのは八九年です。我々が世界と称しのバブルがはじけてしましました。ベルリンのバブルがはじけてしまつて、いつに共産主義とうと馬鹿なことをしてしまつてからバブル潰しをやるがビックを向えて、いわれからバブル潰しをやるは、世界がどれだけ変わったかといふことを考えてみなければなりません。一九八九年といふのは日本にとって本当に厄介な年でした。日本に入つていてるのに、まだ物作りをしている代々くなつてしましました。そういう恐ろしい時差もな、一部の物について今は国境もなければ、時差もな、ついていますね。情報と、お金と、サービスと言つてしまい、いわれを称して「フリット化」と一緒になつてしまつたのです。世界が一つにかかるだけ無駄な存在だったのですが、どうして、ハーバードにしてジエニアの外に置かれてあつたが成し遂げたのです。中国にしろ、ソ連にしろ、諸国工場として、日本とドイツは奇跡の復興側つたのです。日本とドイツだけだったので、西欧は企業国はいかなかつたので、じいの中で競争したから工〇億人足らずです。日本のあとを追つてくる工

金は待つたなしなのです、最大のリスクです。金は、最大のリスクですから当然の結論でしょう。自分でやるといいといふことです。人生にとつて税金を払いますが、税金をどんどん増やすよりも、自分でやるといいといふことです。但し儲けた時はね。うしくしかありません。國を当てにしないで、それで、それぞれの価値観で人生を自分で設計して、並びだつた今までの考え方なり、やり方を改め

は自分でしてみひつといふことです。つまり横

だ。

に実施するしかない、といつぶ常識的な意見を税収中立的税の減収と増収が見合つう従つて、所得税減税は避けられず、しかもむにつけ、社会保障費の負担はかかる。それでいて、長期的には、日本社会の高齢化が進化で内需拡大を図つてほしいと注文をつけたが、欧諸国からは所得税の減税と米欧などの税制簡化不満が高まつていては周知通りだ。米サラリーマンだけが苛酷に税金を取られる、と年度にはそれが七三%に上がつた。それから、現在の西欧なんだ。ところが昭和六十九（昭和五十五年）度には五五%だった。一九八四（昭和五十九年）度の英國が五七%，西ドイツが五〇%接税率の比率は、シャウブ勧告実施直後の昭和二歴史的に振り返つてみよう。国税に占める直ないで済むものか。

ちじめだらうか、ないし、大型間接税導入をし

税は妖怪でなくなる。
改革に乗りだすといつだろ。そのとき、大型間接税を基準に公正な長期的展望に立つた税制改え方を参考にすれば、前記の常識的な考だ。ほんとうにやすへきは、前記の常識的な考ま、減税と手厚い社会保障を「約束」する有様野党は、納得できる増収財源も呈示できないまはない」と言い張つて通そつ、との構えらしい。それを、利口な中曾根首相は「大型間接税で

者団体や流通業者の反対を見越しで不採用に持ちならを土台にした答申を中曾根首相が、消費一般的な売上税、つまり大型間接税である。政府税調専門小委の四条は、この定義にはますより間接税を世間に「大型間接税」と称するようになつたのだ。

検討する戦術に切り替えた。この「課税ペース」課税ペースの広い間接税についてジックリ念した。そのとき「私も利口になつた」と述べ、問うた大平首相は、総選挙に敗北して導入を断秋に「一般消費税」の導入について国民に信をなければなるまい。一九七九（昭和五十四）年「大型間接税」とはなにか、までさかのぼら

実質は大型間接税だから採り上げないのか。の間接税だから採用するのか、名前は違つても「それを受けとる中曾根首相は「新しいタイプ」税調の予定である。

それをタキ台に一案をまとめて十月答申、というて税、日本型付加価値税の四案を公表した。

て、製造業者完上税一方式、事業者間免稅の完専門小委員会は「新しいタイプの間接税」とされから二十日足らず過ぎた十八日、政府税調の中曾根首相の選挙一週間前の発言である。そもそも、その中身にもますが、反対する。」申しても、その中身にもますが、反対する。」
「政府税制調査会が仮に大型間接税導入の答えると、いうなる。
『共产党宣言』の冒頭の一文をちよつと取り替妖怪が日本をつづついている——大型間接税といふ妖怪が。

（一九八六年七月二十六日記）

大型間接税といふ妖怪

堀江 忠男
早稲田大学名誉教授

わが回想記

て地平線となつて、カシバスの左手から右端に
ね、青に少し線を混ぜるふきでしょ。そ
ういうふう。
私も山全体は…ブルー（青）？そ
れを始めた。空は青く、雲は白く、富士山の頂上
私はターブルターブルで絵の具を落さぎ、下塗り

の中でも、多分最も美しい山である。
に雪の帽子を被った富士山は、日本の数多い山
ない。富士山は日本の象徴である。年中山の上
していた。日本人の全てがそう信じていても違
私は、富士山の美を良く知っている、と確信

富士山

富士山が一番やさしく思えた。
する日本のテーマの中で、記憶に頼って描くの
だつた。勿論、富士山だつた。典型的なあらわし
うして私は日本のテーマに辿り着いたの
本の絵を書きはいいのだ！

それでまた、息せき切つて、必死になつて考
るといふ出来なかつた。ケイゾン教授は教室の真ん中
私のほんの一瞬の安堵感は吹き飛んだ。自分は
しかし勿論、次ぎの段階の「何を描くか」で
り出した。何だ、思ったより簡単ね。
「あ、そう…」途端に元気になつた私は、色々
とは明らかだつた。

描いてつけてつけるモノの下塗りをしてつて
タチで移していく。動作から、彼がいわれ
して、混ぜた絵の具を筆で白いカシバスに太
上の絵の具をターブルターブルでしょ。
スに描き始めよ。そのトックのトックのトック
側の教室の隅で、一人の学生が真っ白いカシバ
を見回した。すると、何という偶然！私と反対
絶望して、カシバスと格闘している学生たち

私が下手に描いても気付かないのはない
メリカ人は、自分の無知の故と思つて、いら
か？そしたら、実物を良く知らぬ周りのア
ノをテーマにしたらいのではないだらう
そうだ、アメリカ人には見慣れぬ「日本のモ
ノ」を描いて、」オーリバ（見
慣れない）モノを描いて、」オーリバ（見
か？アメリカ人にとっては出でない
のノーテを「逆手」に取るといふことは出来ない
とにかくいつるが…本当にそれがつかない
は大変なハンドアイキャッシュを背負つていろ
ではなかつたか？「常識」では、外国人留学生
でただ一人の「オーリバ」（外国人留学生
どあるアーティストが頭を横切つた。私はこのクラ
打ちひしがれた私が、ひとつ語めかけた時
い初歩者と見抜くだらう。
すぐさま私が「上級クラスにこもるかしくなく
だつた。教授だけではなく、他のクラスの全員は、
どんなモノを描いてうしても、結果は明らか
辺りを回つていた。

いから、「出で行く」と言わせないか、ど
済むか、彼に、このクラスは私がやわらかく始
めるにとすら知らぬいじとを気付かせず
えると、どうすればケイゾン教授が、自分が描き
スから追いつかれてサバブする生き残るのクラ
どうやってサバブする（生き残る）のクラ
自然を自分のとひろに持つて来る、ではなく、
やつて来る。それ迄に、描き始めねばならなか
ケイゾン教授は、五分か十分後にまた私の傍に
つた。

探し、する道を見付かる

ラ・コ岩本

～日米街道を行く～

。長い身の延長として動いてくれたのだ。
ところを、思ひ出すに表現する自由を与えてくれ
る。しかし・ナイフは私が思うど
疑いなかつた。しかし・ナイフが私向きのは
わなかつた。しかし・ナイフが私に向いたが、構
た。まるで左官屋になつたみたいだつたが、構
の具をカバンスの上に混ぜるじとやつてみ
つけ、必要なら。しかし・ナイフを使つて繪り
りに。しかし・ナイフで直接カバンスに塗り
せたり、タータンで擦かしたりする代わ
りに夢中になつた。絵の具を。しかし・トの上に混
すっかり元気になつた私は、色々実験する
た。

私が、雲を思つ様に描く秘訣を発見するのには、なかなか些細な事がきっかけとなることが多い。なつたときには、ケイゾウ教授に見付かられないで青い木(川)を削り取つた際にナイフの感触が出来たのが、その時。ナイフの感触が好きで青い木だった絵の具は發を消し、私は急場で使つた。ナイフを使つて思い付いたのが、あの時の絵の具は、うんともすくも言わぬ私の言つ事を聞いてくれた…である。そして私が同時に感じたことは、油絵で描く日本画は、直しが効かないが、油絵は簡便で簡単に取り扱うことができる。墨や岩絵具で絹や紙に毛筆で書くといふことだ。墨や岩絵具で絹や紙に毛筆で書くといふことだ。日本画に比べると「御しやす」らしい。しかし、日本画に比べると「御しやす」らしい。單に絵の具を削り取つて同じカンバスで描き続ける。これが、何かを思つ様に成す秘訣を発見するが、それは不思議とかと言いつつある。私は、良く偶然に、何かを思つ様に成す秘訣を発見するが、それは不思議とか言いつつある。

自然界で、実際に、川がどの様に流れているか確かではなかつたので、先ず下塗りで富士の裾から前方に向けて青で描いてみた。裾の部分は細く、前方に向うほどに太くなるよううちに描いた下塗りは、真っ直ぐだったの川といつても木のようだ、まるで富士山がその「木」の上から狼狽してた私は、ケイシ教授にその「木」を見た生えていたるみたいな感じじとなつてしまつた。狼狽してた私は、ケイシ教授にその「木」を見られては大変と、パレット・ナイフでその絵を削り取つた。

全く間一髪で、ケイシ教授は私の傍にやつて来たので、私のハラハラがりは大変だつた。しかし、彼は何も言わずに回覩を續けてくれたので、私は全くやれやれと困つてしまつた。彼が何も言わなかつたのは、私の「I know what I'm doing」(分かつてやつてあるから、口出すしな)

カバンバスの下半分には何も無い。
かけて、すこづ線を引いた。地平線の前方。

度を示したことで会社の雰囲気はがらりと変わる。社長が自分も大きな損を引き受けた結果は悲惨なものにならう。社長が自分の身は安泰に保つたままでリストラされてしまうとしたら、結果は悲惨なことに至る。もし、いつまでも社長が自分の立場を決めたからである。もし、いつまでも社長が本気である。

アーマーの悲劇といふ点では典型的な例で、アーマーは平社員で我慢しなければならないし、サバンナで嫌なやめなければならないし、生活を考えればいいのと同時にしつこい姿勢がよくある。しかしながら、彼らにどうしての教訓は、社長が本気である。

アーマーは、税金の問題で困っている。そこで、公的資金を投入しなければならないといふのである。それを、投入到するところに困っている。家族に対して、昨日までは課思っていたが悪いのかと直談判でもしたいと思つた。本人たちにとっては、寝耳に水の話で、

これが平社員で我慢しなければならないし、生活を考えればいいのと同時にしつこい姿勢がよくある。しかし、公的資金とともにくる公的資金を投入しなければならないといふのである。しかしながら、金融機関の倒産とともに多くの企業の倒産と同様に大きな影響を及ぼす。一般の企業の経済

これが現実になつてゐるのだ。

一 般の企業、特に中小企業は現在銀行の貸付にあつて資金難にあつていて、晴れた日には傘を貸し、雨が降つていては傘を取つていては傘を貸す。とにかくねてから言われていたところは、銀行員の平均給与の額である。年額にして七百万円から一千円余り、一般的の平均よりかなり多い。本気で経営立直しに取り組む気があるのかと疑うのである。

その点、一般的企業のボスは、身もつてないからである。それでも、本気で取り組もうといふ意気を感じさせられる。最近社長が交代した会社は、今年内田洋行といつう会社を扱っている会社である。内田洋行といつう姿勢を見せていて、景気と闘おうといつう姿勢を見せていて、たゞそれなりからである。日本における破綻銀行の救済についても、銀行公的資金投入も仕方がないといふのが、現状ではとても納得できるものではない。どう考へても、本気で取り組もうといつう意気を感じさせられる。日本人の課長の降格人事といふ見えたのである。百人の課長の降格人事といふで会社の立て直しをしようといつう姿勢がよくある。しかし、彼らにどうしての教訓は、社長が本気である。

日本における破綻銀行の救済についても、銀行側がいれだけの痛みを背負つたことをはっきりと言つてれば、國民の怒りを受ける。日本においては、政府も銀行も本気になつて建て直そうとしていることを國民に示したものである。アメリカでは、金融機関の救済をするときには、民間の皆さんが助けてくれるが、頭を下げるべきで、自分たちもいれだけの犠牲を払うから、国にそれをやつたといふ。そして多くの逮捕者を出した。アーマーは、金融機関の救済をするときには、何千万円のうちの、その端数のはうでいるといつて、何と図々しいことかと思う。三八一セント、二五人のうち一人が失業をしてしまった国民は、突然とし、突然とし、呆れてものも言えないといつぱり気持になつた。完全失業率四・九億何千万円のうちの、その端数のはうでいるといつて、何と図々しいことかと思う。以上も退職金を受け取つていたことを知つたが、経常破綻をきたした銀行の元会長が九億円

本気になれば道は開ける

(当会理事)
井浦 康之

物事、難しいことはない

なかつた。ながれで、専門の書店では、本の販売が主な業務である。この業態は、出版社の書籍を販売する「書店」と、出版社の書籍を販売する「書店」である。

ある。しかし、人のふんどしで相撲を取るにどはかり考え方でいる人間を助けようとする人間はいい。したがって道は開けなさいし楽しくもない。人生に一回や二回は本気にならなければいけないときがあり、それが人生を豊かにすると私は思つていて。だから最近、いつもした他力本願の人が増えていのじが私には残念でならない

がふと、いざかがお盛りかまけておつた
会社を創立すると、とにかく、それにはいえる
ことだと思う。自分の足で歩いて資金集めに奔
走している人間がいれば、誰でもいへばくかの
援助をしよひてから持むにかかるものだ。人間
本気になれば、かならず道が開けるものなので

どうして協力してくれた。結果、何と費用がかかりましたが、それでも本気になって協力してくれたのです。周囲の者も本気で、一派のアーバンとして覚悟して本気にならなかった。私が一世に協力してくれた人が現れたのである。私が一世にどうが、フタを開けてみると、さうだった。

たとえば、ソニーの井深氏やホンダの本田宗一郎氏は、きわめて幸運に恵まれた人だった。宗一郎氏は、いかにもいふ。それは、お一人ともいふ。一人トナ一に恵まれたなと思つかる。井深氏には、盛田昭夫氏がいたし、本田宗一郎氏には、藤沢武夫氏といふ素晴らしい人だ。井深氏や本田氏が、新製品の開発に邁進できたのも、トナ一がいて経営面の発展に大きく貢献したからだ。トナ一は、斯氏の引き受けてくれたからこそだと思える。これが、実際に社会を経営する立場にあると、なかなかへりかねらるものである。社員は、十一年のときから社会に出で、三十二種類もの職業を体験しているから、大抵のことは驚か

不得意なことと得意なことを同時に両方並んでいへ

のだった。
私の選暦祝いをやつたときもそつた。
やかにやるつもりだったのだが、会社創立十
周年の祝いも兼ねてやるものだから盛大に
ましましよつといつ専務の進言に従つた。やり
かなりの費用がかかるといつ覺悟した。人生で
一度だけの選暦、一回だけの十周年を借金して
でも盛大にやるといつ思つたのだった。

私も、今まで、何度かある。本気でないと、逆に樂しくなったが、これまで開けてきてし、誰かが助けてくれたし、道は開けてくれたし、誰かが助けてくれたも

稻妻の一閃闇夜に摩天楼

○俱利迦羅は源平もなし蟬の山

月明かり自由の女神を娘と二人

○与一漬異国に永き子の土産に

陽の注ぐ宇治の山端の新茶かな

新茶売る乙女が一人宇治の里

百日紅廟の窓の女の影 三郎

薔薇マーク退任の日のカレンダー

剣太郎

昭経俳壇

遠藤蘆穂

(へふう)
したいで、心に余裕が生まれたではないだ
これやつてれば機嫌といつ時間を過
事が少しも嫌なものではなくつたのである。
とじた。すると、不思議なことに、経理の仕
員としてもの作りに専念する時間を設ける
そして、社長でも役員でもない、ただの一職
考えたわけである。

意な分野に戻れる時間を作ったほうがいいとい
ういふときは、思い切ってガラッと本来の得
要するに、両やればいいといつてある。
しない。そのとき、彼は頭を大きく切り換えた
しかし、経理の代わりをやつてくれる人間は
うが効率がいいにちがいられないからである。

まうより、いい製品を作つて会社に貢献するほ
を突っ込んで、もの作りがおるそかになつてし
らが大事かは一目瞭然である。苦手な経理に頭
しかし、会社全体のことを考えたとき、ど
ういふことである。

は、それを楽しむ方法を考えるのが一番だ
えば、嫌いなことをやる羽目におちつたとき
は、本末転倒である。もちろん、私の持論を言
達えではかりで時間も食いつぶす。これにで
の作りのほうはすくからおりおろそかになつてしまつた。得意ではすくからおろそかになつてしまつた。それだけ頭が一杯になつた。
それはかりが気になるにつになつてしまつても、
なつて、そちらの勉強をしながらねりながらじ
彼は、金勘定といづ苦手なことやめられない
くることになった。

つとも苦手とする仕事が彼のところへ回つて
者はまだ定着していない。勢い、経理とい
理担当者は逃げ腰になつてしまつた。新しい相
かつたことが露呈してしまつたわけである。経
で金が回つていただけの自転車操業でしか
がいいよつて見えて、じつは、銀行から借金
なつたとき、会社に破綻のときしがきた。景気
しかし、ハブルがはじけて、金の回りが悪く

秋刀魚焼く女にがみの身にしみて
人並みの暮らしひの庭の日照草

睡蓮や昔のままのモネの家

百日紅注射の痕の点々と

雷鳴や伊那の谷底どよもせる

東大寺への道のり遙か月見草

灰竹桃老人ホームの高笑ひ

月出れば闇夜に映ゆる月見草

中年の見合ひつまし新茶つぐ 長谷川 雷光に浮ぶ比叡の山の夏

○雲海のうねりに押さる山の峯 富貴男

○霧の尾瀬ニツコウキスゲを敷物に

○芋を撮る定年退職自由の身

すいか割りバツト振る児童の長き列

土用波浜はさすがに入まばら

タ雀の秋告ぐる声かしましき

潮風の土用波あおる九十九里 千鶴子

さはやかや養子縁組成り立ちぬ

入道雲空の紺青追いはらい

朝露や公園どこも太極拳

にがうりの緑のカーテン家ごとに フィルベル

かなかなや河原の中に野天風呂

含みある言葉吐かれて草火消し

古民家新着麦入荷の白暖簾

湯めぐりの下駄のひびきや月の影

高稻架を解けばタ日のみふしかり

○月のぼり盆燈とびのる村のバス

○休耕の周り律儀の案山立ち

帰り来て知る人もなし墓洗ふ 悟 風

秋づら寄り添ふ影を追ひぬきて

神が創り残し給う宇宙を目にすると云ふことができ
として登録されている。文字通り天地創造の主、
立公園として、ラムサール条約にも自然の宝庫
れた楽園である。名付て釧路湿原と称し、国
湿原に、無数の動植物が大らかに生を嘗む恵ま
な土地は、古代から形成されてきている豊かな
に釧路港に流れて海に入る。途中に広がる広大
やがて大河を形どり、奔放に曲がりくねつて未
込んで自然の豊かさがさらに加速されてくれる。
川、雪裡川、幌呂川、コッタロなどの川が流れ
道央にある屈斜路湖を源流とし、途中、久著呂
生きた釧路川の流域は、生物の宝庫である。

命体としての機能を失つてしまふ。
までの川の連続性が絶ち切れ、川の有機的生
良川だけである。ダムがあると、源流から河口
のはこの釧路川と、四国の四万十川、岐阜の長
キロにも及ぶ国の一級河川である。日本には約
かえ、そこを源流とする釧路川は全長百五十四

釧路は北の大地のなよ奥地に屈斜路湖をひ
すこどりができた。

ご案内を受け、有意義且つ充実した時を過ご
ユールだったが、板垣さんの懇切な手際の良い
消化して、翌朝離道するといふ慌しいスケジ
どはあつたが、釧路を訪れたのは今回が始めて
過去、度々北海道に渡り札幌、帯広に来るこ
を得て、生々として私の目に映つた。

釧路川を始め幾筋もの河川が、整然とした街
なかを流れている。釧路市は豊かな自然の恵み
果してなく続いていた。

晴北の大地は、初秋を迎えて未だ青く輝いて
て眼下の釧路空港に降り立つた。空から見た快
北海道の最初のちいさな漁港を見ながら、やが
離れた。北海峠を渡ると、茫茫として広がる
て東北地方の沿岸を北上し、一時間余、本州を

後記隋想 佐々木誠吾

秋高し峰目交ひに伊那の里

秋の空慈母觀音かや至仏山

○冷や麦のギヤマノ皿のひんやりと

落日や日差し尾を引くお花畠

青蛙湯窓に一匹はりつきて

昼餉どき妻黙々と胡瓜もみ山人

○若者の死の慌ただし走馬燈

青年の夢もはかなしねじり草

草笛や雲井遙かに目を据ゑて

夏山や悠然と飛ぶ鷹一羽

雲海に浮ぶ小島の槍ヶ岳

珍しや山下清の夏の富士 とぐり

川中みゆきに似ていた。さらの店に勤める女性だが、一人ともかわいらしい魅力的な面立ちある。両隣りに座った高子と優美と云う女の女を吟じて港町ブルースを歌えば底知れぬ叙事歌美女を揃んで酔町するまことに下手くそな演歌未広町の座敷・八千代できれいといらの酌を受せない心情を吐露した短歌を沢山詠やつる。川啄木もいの飲み屋の女にほれ込んで、やるやく心話をたえて夙きながらのがある。石川啄木もいの旅情をたえて夙きながらのがある。未広町、栄町あたりはしつとりからつて栄えた繁華街は今以つて健在である。もうに見えた。未広町、栄町あたりはしつとり繰り出してみた。

将であり、無法松の一生であり、昂ぶる男たち
との疾風怒濤の人生街道である。その面影を今に
じどめて、赤いネオンの港町ブルースの夜にも

軽べコーヒーを飲んで談笑した。ついで四季折々の眺めは云うまでもない。さて、雅であり、筆致につけて美しい趣きである。しかし、広い明るい店内から眺める春採湖の眺めは優子の名門、「六花亭」の釧路店である。清潔で、お店や販売店を開いて、堅実な経営をする和菓子の立寄った。道内六十三ヶ所にお菓子のお店に立ち寄った。この湖を一番美しい一望で見る、老舗の和菓子の街に親しまれた、聰い景勝地である。これいなか丘陵地にひらがる綺麗な住宅街である。まさに釧路と云う街は、港を離れると周辺はゆるやかにあって市民に親しまれた、聰い景勝地である。きれいな水を湛えた「春採湖」は、そつした街中には、春採湖といふ名前で、春採湖の眺めは、やはり四季折々の眺めは云うまでもない。さて、

炭、港まで積み出す鉄道貨車の列、それを見ても庄巻であり、モノクロのフィルムを運ぶように、迫力を以つて迫つてくる光景である。この映画は、一般族の良質のものを掘り出で待ち受けるタシカ一と、この一連の工程を取つて見てよし。

六花亭は、息子の妻の母の実家である。短時間であつたが、親しみが湧いてゆつくりとくつろぐことができた。道内の経済と文化に尽くす六花亭の小田豊氏とは、しばしばお目にかかるが、またまた釧路に来て、ふと立ち寄つた六花亭の素晴らしいお店であつたが、その優れた独特の経営の一端を見ることがで幸いである。小田豊社長には、十年前、慶應義塾大学で、昭和経済会主催の講演親睦会の講師として出ていただき、「経営理念」について講演、指導してくださいださつた良き思い出がある。本店は思つに北海道は、自然の大いなる恵みを奥深く、雄大に秘めた北の豊かな大地である。そこで生活する人々の思いは、確かなよくな気がする。想像するに北海の漁師と、炭鉱夫の組み合はわせは、その気概たるや豪快無比、天下無敵の男意氣を發揮して余すところない。遡れば、一撮千金を夢見ての暴れ獅子、村田英男が歌う王

性は、みんな釧路生まれの釧路育ちといふから
さもありなんとおもつたのである。女性たちの
かくである。
釧路市は人口二十一万、かつては漁業と石炭
産業で盛えた街である。水揚げ高は日本一を誇
り、黒いダイヤの石炭掘採で日本の産業発展に
大きく貢献した街である。しかし、近代日本を
支えてきた石炭も漁業も、大きな時代の流れに
止むなく押し流されてきました。しかし郷
土愛に生きる人々の気風と人情の機微、美しい
街並みと、自然の恵みと景観は、新しい時代を
迎えて釧路の街が着実に生かされつつあること
に身を以つて触れてきたのである。
しょうね」、と答えていたのが鮮明に残つていて
る。昭和経済の六月号の十六頁に載つていて
それしても一ヶ月の間で六十ドルも上げ下
げると、うなづくは、我々の経済秩序を乱し脅
かすも甚だしい限りである。原油は講師の指摘
したように、暴落し、今はニコ一ヨーク発金融
恐慌に近い株式状況である。私は不束ながら、
ホーム。一ぐじに数日前にいれを取り上げていて

実際にラッキーだったって興奮気味だった。
けていることができたのは我々は初めてであつて、
タクシーの運転手によると、いうて自然に見つか
ることができた。実際に優雅な立ち舞であった。タ
るを渡るのを目撃し、広々とした草原の先の高台
に、二羽の丹頂鶴が美しく立つているのを見た。

けとして根本的に考え方を直す時期に来ている。
地道に振り返つて見て、エネルギー資源として
地道に復活しつつある。漁業も食糧問題をきつか
ての石油も、二酸化炭素の削減に新しい技術を
駆使して、活用範囲を広げてきて、資源として
賛明に乗り切つて再生を図つとする象徴的
日本には多い。今回訪ねた釧路は時代の変化を
うした条件を抱えている地方都市は、今
それを象徴するかのように、日、釧路港の岸
の将来の展望と希望が描かれていると思つた。
世界の激変に向う力と個性を發揮して、この地
での条件は充分に捕つてらる。潜在力を駆使し、
な姿に写つたのである。更是、觀光立地とし
は華やかな明りを灯していたのである。

論家が沢山いて、マスコミに盛んに登場していく
百ドルいくと云つて煽りまくった馬鹿者の評
をつけた原油の高騰は気違ひじみていたが、二
活するにでもできる。つい最近、百四十八ドル
これからは又、漁業としての機能を生かし復
讃議家が沢山いて、マスコミに盛んに登場していく
迎えて釧路の街が着実に生かされつつあること
街並みと、自然の恵みと景観は、新しい時代を
土愛に生きる人々の気風と人情の機微、美しい
とにかく押し流されてきました。しかし郷
支えてきた石炭も漁業も、大きな時代の流れに
産業で盛えた街である。水揚げ高は日本一を誇
り、釧路市は人口二十一万、かつては漁業と石炭
産業で盛えた街である。水揚げ高は日本一を誇
り、黒いダイヤの石炭掘採で日本の産業発展に
大きく貢献した街である。しかし、近代日本を
支えてきた石炭も漁業も、大きな時代の流れに
止むなく押し流されてきました。しかし郷
土愛に生きる人々の気風と人情の機微、美しい
街並みと、自然の恵みと景観は、新しい時代を
迎えて釧路の街が着実に生かされつつあること
とに身を以つて触れてきたのである。

又「中元 燥暮」の行事は、人を氣づかう儀事としてじてじて思ひだが。それでは、そぞの気持ちをしるす心情が何えて、伝統的なもしくは

「内」がどんなでもない結果に終わってしまった。福井に豆撒いて、公務執行妨害で捕まつては駆け込まれた逃査報がされても咎無しである。騒動も起していふのかと一〇番に通じてみると、正義感の強い子供などは、家の節分と、豆撒きを知らない子供達もいるから、大声を出して喧嘩を周辺に撒き散らしたりしない。

いへば、とにかく、大いに知恵を働かすべきである。家の中に、家の外に機会を捉えて活用すべく、昔は大声を出して、節分の「豆撒き」をしたるものである。近頃は、節分の豆撒きに豆を用意されても、最近は近所でもしていある家庭には全くないので、自分の家だけでやつていて、と、自己本位で利己主義丸出ししたと思われる。

けることは確かである。

日本経済新聞のコラムの春秋欄で、先日「現代家庭」の中行事に就いて書いてあつた。家庭で行われる色々な催しは、小さい時の教育の一環であり、家族の団欒と結束を意味して多い氣物がある。広辞苑によると、三十三年をほほ一世代とすららしい。調査によると、この一世代で、家庭で恒例になつていてる行事のランキンングも相当入れ替わつていて。一位の「誕生日」

卷いていいる。しかし人間の生い立ちと教育から考えると、原点はやはり家庭である。家庭の在り方人生の全ては家庭の延長で迎えられる。家庭の在り方次第で、特に幼児期に与える躰は大切である。幼児教育は、教育の基礎の形成であります。同時に、のちの健全な家庭環境が維持され始めて、両親への尊敬、夫婦愛、兄弟愛、友情の輪は広がって、その人の一生を決定に及んでいく。そして、その人の一生を決めるに違ひはないことは確かである。

は、ゆるぎないものであつた。いれをもつして、日本の中を覆つていかかるのじへ喧伝されていて、が、そんなじとはな。い。家族の一員としての世に生を授かり、それを祝うじとの意義を再確認して、次の一歩を考えるきっかけとするじとを以つしてして、昨今指摘される家庭崩壊の議論は誇張されていて思つて。私は、この前進的原動力である。

いいろな観点から考え方と方針に、賛否両論が渦巻く。教育から始まって、職場、社会、人生といろいろ最近は団塊の世代とともに微妙に関係して、学校家庭においては、そのことの大切である。

し、理解しあつて、お互いに解決付けており、家庭でのイザコザは、お互いに話し合ひ、相談してあい、助け合ひ、お互いに意志の疎通を交わす何としても遅い。お縄頂戴で、後の祭りでは、からでは、事の重大性に気付いてからでは、が、そのことが原因となりて犯罪事件を起してしまが起きるにどはやめられないことである。そもそもが感情の動物だから、ちゅうじた事でいざにいたり、悲劇をもたらすにどはある。そもそも絶で、些細なことで暴力沙汰になつて犯罪事件といつたが、親子の関係が冷え切つて、心の断家庭の崩壊が叫ばれて久しい。考えられるな

佐々木誠吾

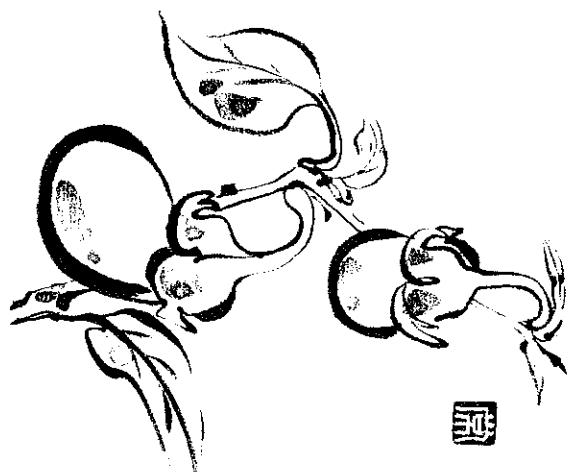
後記隨想

ホーライがうやうやしく大きな皿を持ち上げながらやつてきました。テーブルの真ん中にそっと置いた大きな皿の上には、かき氷が一面にしかれであります。たかが生牡蠣を注文したくだけんで、丁寧で芸の細かなしさをくだけました。心して見ていた。さすめ後から大粒の、じつに載つて運ばれて来るのだらうと想像してありました。白い生牡蠣が十個、十五個と搔き氷の上に載りしたりして、ひめじを召し上がれと

ねど妻がにじにじながら云つた。日本で食へて、いる牡蠣は、身の白く光つた太きりやつ、がとらりとした感触で何ともしゃみじ。拙宅近くの尾山台駅にはある魚辰やで売つて、いる牡蠣は新鮮であり、粒も大きいくちの中央を縫けてある。ニヨ一ヨ一クひぐるうかと、ナマフとフオークをこんな大きな粒だらうかと、待つて待ち構えていた。

昼食の時間に間に合つて、三人で食事に出かけた。腹も大分すいてきている。近づくうちにオイスターの旨いレストランがあるといふのが聞も聞く三入で颶爽と練り出しだ。今度はもうの交差点の八番街を渡つたところのビルの一階に、赤いテントを張つたキヨートなレストランドンがあつた。通りに面していて異国的であり、案内されたテーブルについた。メニューを見ていると、顔中に生えているらしく黒い髪を、明子がメニューを見ながら牡蠣と思われる料理をまず適当にあしらって注文してくれた。ここで、先にビールを飲み干して、乾いた喉を潤して、ゆったりと待機した。お父さん、嬉しそうで、

教育への旅



これが人間性の由来に遡るものである。
一家団欒、いつの時代にも共通したものであり、家庭の幸せにつながる行事、習慣は、即ち、あつて欲しいと思つ。合理性格優先だけでは、心の触れ合ひが随所にが世知辛くなつてしまつてしまつ。それが社会の風潮を意味でとつてしまつといふ、それだけ社会の風潮が少くなつてしまつといふで、悪

日本でもよく聞くへ話だが、瘦せの大食いといふ。ついでいてて肥るといふわれるから、何ともいえないんだほどの量ではない。肥る体質の人は、水を飲むブリにうつて食べ入るものはビックリする。つたことは、肥満の人は沢山見かけぶ、テー思中で踊っている感じがした。ただ不思議に店舗の中でひとり爆笑したら、今度は観客が三匹腹を切ってお茶を立てて茶の道を味わつてきたうちに隠じて神田の稻荷町の自宅で、毎晩教会の岩金さんは茶道の先生で、いの間女性たりは、正直のところ持ち合わせていかなかつた。同時に味わい、一緒にして考える時間とゆび寂びを表現した静寂な一間の茶室の世界と、巨匠大仏高層ビルの林立する活況の世界と、僕が

変な感じで感心していいたのである。
日本の茶道のよくな織な感覚もあるんだ
とかしも儀を正して運んでくるなんて、まるで、
のよくな生牡蠣を少量、仰々しい器に置いて

大きなメージを抱いていたそのアメリカで、観満せたのである。私がどこで何は何かけてもメリカらしい魚介類の料理を注文して、お腹をお腹を満足した。私が肉が駄目なので、アーニュ染みの魚介類の盛り付けなどを注文してある。そこで別に大きくなえびを初め、いの店胃にすりと来ると思つていてただけに大き美しくした。牡蠣にいたわるわけではいながら、それじだ。牡蠣に来て、いはれて、アーニュアイアン・アメリカで体験した最初のお笑いである。舌に触れたまま、胃に落ちて行ったような気が掴んで口に入れはしたが、少しばかり感触を写しだせなかつた。しかし用意された箸で器用に撮った様子だけで、余りにも小さなおイスターハは被写体にあるのは、大きな皿と播き氷が散らばる記念にその小さな牡蠣をカメラに収めたが、方を習ってきたと考えればいい。

たのである。ヨーヨークで牡蠣の上品な食べたりでいればいいやないかと漠々納得して

る気持ちはなつて、輪麗な和菓子を駆走になら感じた。ヨーヨークで茶席をしたなかれオーナーを握って構えていたのだが、裏をかかれただろう。自身はおおそ大きな鮑のようなん小粒のオイスターはきっと発見できなかつた。近眼の人だったが、水に載つたう方もあらうとひらひらといでいるやうな品をたまたま走りよつと想つたのに、ついでには歯に挟まつた走りよつと想つたのに、ついでには歯に挟まつた走りよつと想つたが、ねわたくお父さんとに美しくい生牡蠣を沢山いじつた。わたくお父さんとに美しくい生牡蠣を沢山いじつた。されば、どうしてかくわづかく、それで、物つてつた気がついた。そこまで気がつかなかったのである。それで、これがいの店で名物のオイスターだと大きくて、一般的の人には駄目な常識的なのがいよいよであります。サズの小もりありませぬ。これがいの店の独特の牡蠣であと大きくなる。明子が、ボーグを呼んで聞きました。

一歩進いないうちに、いつかまだやんとからめてあるし、どうみてもこれが注文したオイスターだとわかるがすでにケチャップヒーモンが添えるんだと、更に期待を感じましたのである。あるわいと、ビックリするようなものが出来ますと競付きの、さすがヨーヨークでオイスターで牡蠣で、後からジャパンホーリーなアメリカで牡蠣で、だかがよいでござります。それが注文しが六つ、行儀よく並んであります。米の間をくわしくても牡蠣があまりでございません。妻も身を乗り出しますと一緒に播き氷の上を凝視すべししながらいらっしゃるのである。まさかと思うからが突然、これがオイスターなののかしらと目を丸なしないので、不思議で強烈でした。うう、明子がしかし幾ら待つていても一向にそんな気配がるに違いないと胸を膨らませていてたのである。

個性的な服装であり、確かに纏めて由をもたりで見かけたサイ女子とは全く違ふ。シヨウを樂しんでいた感じだ。渋谷、新宿、高麗通りへ来たが、スマーク一カ一ど間違えられていきたいと思うが、まだまことに着けた女性が七番街を激しい練り返しで連が立つようなものであつた。それで腰張したり、冷却されて凝縮されたりのものもある。昼夜の寒暖の差もある。路面が熱せたりする。冬は零下一度以下になつたときにだけ激しいのである。夏は四十度以上になつたときもあるし、冬は零下一度以下になつたときにだけ激しいのである。気候の寒暖の差が、工事が杜撰なのではない。気候の寒暖の差がある。トルの道路が波打つている場所が随所にある。アスファルトには足跡に注意しなければならない。アスファルトの大通りは、横断するときにはアスファルトの舗装され、明子に注意された。路面が口から歩いていて危ないわよ、路面が持つておひつね、お父さん、あまりキヨロキヤン演出し、教養のある雰囲気である。いついた氣

十二歳前後の女性がジーンズをスリムなかもしれない。

結果、遠慮なく太つていぐ人が多い。肥満は気を摂取した上に、遠慮なく陽気人大らかにして、人の人種には年を取るに従つて、過度な油と糖分を多く云々そつてある。概して欧型男女の区別なく云々そつてある。この人が健康美を楽しんでいるような人が多いが、年配の人は深刻としてスピーク感があり、いかにも人には深刻としてスピーク感がある原因かもしれない。若い人には口の飲みすぎも原因かもしれない。若いうれれる。陽気だから、アスクリートを片手にココアココアの事の取りすぎていると思われる。阳気だから、だらりとホリコームのあらぬ多食の事の取りすぎていると思つた。だつたに違ひない。まずは精神的に安定していく。友達同士なのだろう。若いときはキューブルみたいた年齢の人と並んでゆつくりと渡つた年齢の黒人と白人の女性が、同じような体形の黒人と並んでゆつくりと渡つた年齢の人といつ横断歩道を渡つていてくつかつともモデルみたいなスリムで足の長い娘が大きなかつともある。確かに瘦せている人は、食べても

酔い覚ました兼ねて、いい気分で七番街五三

二十五

ではないかと思うのである。
これが果然と行われていて、少し狂つていて大量に麻薬したり、常識では考えられないくらいに食べてみたり、社会も又、食へ残しを格にかけていて、教育上もさうめのだ。創食品の国人の人々の知識度がわかるところだが、その文化程度ももじりたいものである。あの馬鹿艺居、馬鹿驕ぎだけではない。冷靜になつて考えるまでもないが、あの競技は下劣な見世物だが、もじりたつた話をしていて、いふ人がチヤンピヨンなどになつたより痩せている。冷靜になつて考えるまでもないが、やつていて大食い競争である。肥つていてよいめ付けは、ばかりか話だが、テレビでやつていてあるのが一體からだのじにに入つていてしまつたものかと思つへば、健康的によく食べる。研究が一體からだのじに瘦せている人は、食べても

私は相助け合う共同体として国際社会に臨む國な國はないだらう。早い話、この三國のよる國まれば世界はこれに攻撃を仕掛けってくるがならない。軍事力を行使してはならぬ。三國がくるとも米、露、中、だけは戦争に加担してはならぬ。する手立てを考えてみなければならぬ。少なくなるだらう。紛争、対立を円滑、迅速に解消する潮流に乗つて時代性を發揮できるのではないか。頻発する局地戦争は、これからもいる人大統領を相き出すのも世界の変革を求める黒ければ、知性と理想を掲げて新しい国造りに、黒ダイナミックな國だから、変革と云つてはなが出てきていることが、要注目だ。アメリカはソートの名前が有力だが、若くして無名の黒人リーダー。民主党に期待したいが、ヒラリー・ク林檎に苦痛の日々が続くことは、希望など一年と七ヶ月もある。それまで疑惑と焦躁の変革を期待する次の大統領が決まるまで、あ

だ。色々な屁理屈をつけて、問題を複雑にして針盤なき暗黒の航海を続けて漂流していくのであるにもかかわらず、このまま知恵もなく羅で世界の人々から時代的使命を荷い期待され巨大な國にして、民主主義と自由主義の國として、アーヴィングが退かないど、アメリカの悲惨な結果を生かされずに、今アメリカという巨大な船は漂流を繰り返しているのである。トナムの利益がもたらされたから。トナムの軍艦野蛮な行為を繰り返し、これによつてな物を扱うように平気で屠殺されている。女、子供、老人が動物たちを猛野畜として殺されたりする。罪のない現地での市民の犠牲者は百五万人ほども言われている。が、精神的な痛手を負い、その障害に陥まれた兵士の多くが今日も繰り広げられている。そのため傷病かも知れぬアフガニスタンやイラクでの戦争が今も継続され続けられている。トナム戦争のときもしかり、何時止むといふ。トナム戦争のときもしかり、何時止むだ。

理屈は付けられねばならぬ。人間とは厄介な動物純に考えてしまつてある。單純に考えれば屁理屈を付けては危ない。人間とは厄介な動物で儀性となつていて。相手方の儀性も、大量に米軍が異国の熱砂と、迫撃砲と、自爆攻撃の地全ては戦争のためである。既に三千人以上の

いる。ある。そのためには今日も尊い命が儀性になつて戦地に由で出して後ろで握つていている。祖國のためと威だかに声を張り上げていて、敵地である。自由のためで踏ん張り立つてゐると確信して、彼らは戦乱の熱砂で戦死していり。アメリカのために、祖國の地シッコのためには毎日のトナム戦争で米兵士が異国の地シッコを踏ん張り立つてゐる。それが戦つてはしないで戦つてゐる。そこな香氣を持ちもせぬくなつてはしないで戦つてゐる。そこで、その香氣を持ちもせぬくなつてはしないで戦つてゐる。九・一の殘骸を目の当たりや

な母そんなんに急ぐんだ、「のスローガンを見せての垂れ幕がよくかかるが、長い人生・みたいたいにあつといつ間に飛び出して、一斉に走り出していく感じである。信号が交わると「一ヶカ」物のエローキャブなどは往来上では危ない感じである。例えは平気でじやんじん走つていていじで、俊敏ひもつてマスターできることもできる。それで、俊敏ひもつて訓練の延長線をいつついていく感じであり。もともとしていりと素早く注意されなければならない。もともとしていりと素早く注意されなければならない。それが又、明子にはピタリ合つて来たにいふから頼もしい。機敏な動作も真央ちゃんのトリブル・ア・タセルの三回転を見ていいるような連れない。そこで、明子にはピタリ合つて来たにあたりで目立つよつて赤いスリーブを着て来て来たにあたりで行くはうからね。明子が目印になつて、そこさきになんな道筋を行く人々のみの中でも迷子にならぬですのは、明子が目印になつて、

と、意外な返事が返ってきた。「兼しみ半分、味ですね」と云うと、「なかなか疲れますよ」と。室橋さんは満悦な表情である。「兼しみい趣つた。」今日の釣果は三十四匹あります」と、今日は取れた種です」と云つて聞へる。いつもいよいよ澤山取れるからである。しかも粒ぞらいで、セシチ以上あるだろ。さくらんば六十ナダとかンハチだといふ。大きめはみんな六十ナダといふ。サバは判るが他の一匹の名前を尋ねると、イタ。

う素振りをされ。お言葉に甘えて三匹頂戴しました。それよりもう一歩を召し上がり下り、「ヒトツヒトツ」と。晩は刺身にして思つていていたので「ヒトツヒトツ」と。二正あれがいいんです。お魚屋さんで、今は

た。家飛び込んで行き、ビルの袋を持ってきて、妻を持ってくるやうに書ひつけた。妻はわざと入れ物をされて「宜しいですか」と云つて、妻に入れ物室橋さんで、持つていて下さり」と促された。

で特に刺身は大好物なので存知なのだろう。勢の良いひびきもありしている。私は魚が大好きキャラクタ光つていて「と活き活きとした魚の威」も見てびっくりした。大きな魚ですね、ジブかみに一本、三本とつからんでは見せ下さい。見るだけでいいんですよ」と云つたのに、ワウワウ！、沢山の大好きな魚が一杯に入っている。蓋を開けて中身を見せてもらつた。

せんか」と、声をかけたところ、「お持ちになりました」と、車の後ろのとびらを開けて荷物を下ろして、趣味の釣りから一度帰つてきましたので、ワゴン車の後ろのとびらを開けて荷物を下ろして、前のお佐伯さんの娘さんの主人、室橋さんがいいだつた。

秋の日が少しがありそべ静かな一日だった。

になつてきている。一一〇七年七月十日・記
波に乗つて国際紛争も多国間で解決して、迅速
ると思うのである。今世界はグローバル化の
本の憲法の前文にある基本的理理念の発揚にあ
く調整し、最大限の調和を図っていく姿は、大
等、公正和平といつた概念を元に、そして上手
る。色々の軋轍もあるに違ひないが、自由、平
らの進むべき世界を暗示して、よいお手本であ
る。そして今は繁栄を讃嘆している。これから
様の民族が、それぞれの分野で活躍し生活して
ニユーヨークは、他民族都市である。多種多
本である。

これほどここで、誰かがストップさせなければ
され、悲劇は際限なく増幅されていくだらう。
持つていかないと、支離滅裂は際限なく繰り返
て、対立紛争のない地球一体を実現する方向に
へきだらう。そして将来はEDTをも福野に入れ

秋の講演親睦会のお知らせ	演題 口シア情勢について	講師 石川一洋 氏	NHK解説委員	前・モスクワ支局長	日時 十一月七日(金)午後六時	会場 八重洲富士屋ホテル	二階「桜東の間」	昭和経済会 事務局	波に乗つて国際紛争も多国間で解決して、迅速
--------------	--------------	-----------	---------	-----------	-----------------	--------------	----------	-----------	-----------------------

始まりとされています。なぜ「おわら」というのか?。一説では、戸時代八尾の遊芸の達人たちが、七五調の唄の中には「おわらい(大笑い)といふ言葉」を差し挟んで、町を練り廻ったのが、いひしか「おわら」(大糞)「お」と唱つてよつてぶつたとする説があります。豊年萬作を祈念した、「おわら」(大糞)「おわら」(小原村の娘が唄いはじめたという)「小原村」などがあります。かよづに数々の説が有ります、注目は、越中八尾観光会館にセツトされて、特定できないうつです。

練のたまもの踊りでした。人が密に詰めて、深い調へを感じさせます。修弓、これらの楽器の奏でる哀調の旋律と唄の調趣の深いものに見せられます。太鼓、胡琴が密に詰められて、手や腰の動きの美しさに、

講演会の主な講師		(講演時役職) (敬称略)	
H 産業産業蔵	小H 應學	學田 清本	大蔵
K 省省省省税京	本務	工經治 議	銀
K 生産官	企K 墊	產技	銀へ内閣大臣へ
解産 活業際房	銀省	業解大	院術評
委政政	行	省術護研新評	研究行
員議局局部議	宇說学	研究聞大	社論大
長官長長官官事裁問家官員授家問官士長間家臣長家長家事長取	顧長委教	廳長所顧	論理社頭大臣
伊金山龜西早島副山久岩斎目原和小L霍松鈴有馬采谷見水木井澤坂田鳥田浜全精	田清本	濟本二	財務省大臣
通大内國立衆東政慶政N前出立東三テN駐ニ前野東対東東早N龍井N	久	久	通商省大臣
商藏閑	久	久	通商省大臣
産省總臣	久	久	通商省大臣
政研也義ニ香繁ニ雄彌ニ亘人郎一明俊人ヲ浩羅夫人郎治亘勇彥雄之人	久	久	通商省大臣
忠武康康昊	久	久	通商省大臣
理研大業濟院銀大	久	久	通商省大臣
研究会臣生學行論大說大	久	久	通商省大臣
補機部議論大教委	久	久	通商省大臣
構頭教委セシタ	久	久	通商省大臣
佐教授大院顧事	久	久	通商省大臣
ババ相	久	久	通商省大臣
N 通通通通大國東日外作中N慶作通科弁組日政大參科經本經日ソ當大	久	久	通商省大臣

昭和経済新聞社
平成二〇年九月二十六日印刷
平成二〇年十月一日発行
第五十九巻 第八号
昭和経済編集人
佐々木誠吾
日本印刷株式会社
発行人兼發行人
印刷所
事務局 東京都中央区銀座二丁目一〇一號
FAX (03)3571-1011
e-mail:info@showa-ecc.or.jp
http://www.showa-ecc.or.jp/